



今週のプログラム

第1371回 平成18年 3月 8日(水)
外部卓話 石川島播磨重工業株
北澤 進様
『身近な環境問題とオゾンの有用性』

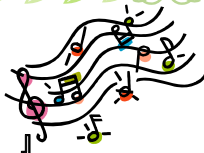


Handwritten signature



今日のロータリーソング

『それこそ ロータリー』



第1369回例会 委員会報告 (3月1日現在)
出席委員会

3/1 出席状況

出席 28名 会員数 38名

ロータリー財団特別寄付(個人寄付)・・・(ABC順・敬称略)

稲葉・川端・高尾・山田・藤本・東・金・下田・高嶋

(本日4件 7,000円 本年度累計261,600円)

年次寄付・・・・林田(数)

目標達成・・・合計24名 累計金額266,000円

強化サック・・・・本日1,000円

累計金額 84,600円

米山記念奨学会(個人寄付)

藤本・下田・高嶋

(本日3件5,000円 本年度累計279,500円)

ニコニコ箱・・・(ABC順・敬称略)

恩地精一様・・・卓話お礼をニコニコ箱に

藤本・・・恩地館長本日は卓話有難うございます。

林田(恒)・・・公務のため早退させていただきますのでよろしくお願いします。

前田・・・恩地さん本日は卓話ありがとうございます。

前川・・・恩地館長様本日は有難うございます。

野尻・・・ゴルフ同好会の仲間と海南島ゴルフツアーで優勝して!

下田・・・恩地様卓話ありがとうございます。

高嶋・・・丸岡公民館長恩地様本日は卓話ご苦勞様です。

竹内・・・2週休みましてすいません。3月は忙しいので頑張ります。

釣部・・・恩地館長卓話ご苦勞様です。本日都合により早退させていただきます。

山田・・・お先に失礼します。

山下・・・楽しい旅行してきました。

| 本日の合計 | 本日迄の累計 | 前年度との比較 |
|---------|------------|------------|
| 27,000円 | 1,228,000円 | 1,214,500円 |

会長挨拶

お客様の紹介をさせていただきます。丸岡公民館 館長 恩地精一様です。後ほど四町合併によるこれからの公民館活動という事で卓話を頂きます。これから地域を創っていく中で公民館の役割は大きな位置を占めると思います。

2月26日の新聞に大久保ガバナールと東京RC5代会長の司葉子さんの対談が載っています。後ろに掲示してありますので見てください。

丸岡町の一本田公園整備の我がクラブより60万円の寄付を致しましたが、その一部であります立派な時計塔が出来上がり除幕式の案内が来ています。

3月6日(月)10時からです。会員の皆様の多数の出席をお願い致します。

トリノオリンピックでは荒川静香選手がアジアで初めての冬季での金メダルです。本当におめでとうございます。

幹事報告 【 来信 】

※ 会報・・・武生RC・武生府中RC

※ インターアクト地区大会記念誌

時計塔 除幕式 3月6日(月) 10時～

一昨年より建設中の一本田公園に時計塔が設置されました。林田丸岡町長や保育園児による除幕式が行われました。朝7時に鳥の声、昼11時30分にチャイム、夕方5時に家路の夫々時を告げます。一本田公園が安全で子供たちの笑い声や町民の皆様の憩いの場所になれば嬉しく思います。



雑誌・資料委員会 ロータリーの友 3月号 案内

P 14 ロータリアンに聞きました。本気でやればできる。

P 15 日本のロータリーが提唱すべきこと

サムライ精神忘れ劣化する国

P 16 ロータリーにとって成長とは何か?

P ⑩ 「超我の奉仕」について

仏教の心に照らすと・・・

P ⑰ ロータリーの「四つのテスト」

P ② 藤沢周平を通して見る庄内山形

県内クラブ
例会日

| 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|--|--|--|----------------------------|---|
| 福井東 福井厚生年金 敦賀西 サンピア敦賀 PM7:00開始 PM6:00開始 | 福井南 織協ビル 8F 勝山 市民活動センター 武生 武生商工会館 若狭 小浜商工会議所 福井エッセイ ワシントンホテル | 福井北 ワシントンホテル 敦賀 北陸銀行敦賀支店 鯖江北 神明公民館 丸岡 JA花咲く丸岡支店 | 福井 ユアースホテル 武生府中 JA越前たけふ | 福井西 クラントリーア 三国 三国観光ホテル 大野 リブレ 4F 鯖江 鯖江商工会館 あじさい パヴェリア |

卓 話

丸岡公民館

館長 恩地精一様

「四町合併に伴うこれからの公民館活動」について

みなさん、こんにちは。丸岡公民館館長の恩地でございます。ロータリークラブのみなさまには、日ごろから、公民館活動に対し、深いご理解とご支援、ご鞭撻をいただき心から深く感謝いたしております。



この席をお借りいたしましたして厚くお礼申し上げます。

私はただいまご紹介いただきましたように、元北陸電力の社員でございました。昭和34年に入社以来、北陸電力福井支店、福井、春江、丸岡、三国、金津の各営業所と福井火力発電所、福井電力所と渡り歩きました。この間45年弱となる会社勤めに終止符を打ち、毎日が日曜日という生活に慣れてきた矢先の1昨年4月、丸岡公民館長をとのお話が飛び込んでまいりました。

地域社会のお世話役は、多くの人たちと交わり見聞を広めることができる良さがあり、自分の小さな殻に閉じこもらず、積極的な生き方を大切にしようと、ありがたくお受けすることとしました。さらに、社会教育指導員という辞令もいただき社会教育とはなにか、公民館とはなにかと悩みながら、とりあえずは先輩たちが築いてきたルールの上を歩きながら考え、より良い公民館活動をしたいと暗中模索しながら進めています。

活動内容は、

- 1、青少年健全育成事業の実施
- 2、定期講座及び教室の開設
- 3、講演会及び展示会等の開催
- 4、各種団体及び機関等との連絡調整
- 5、住民集会その他公共の利用に供すること
- 6、各地区区長会との連絡調整

さて、いよいよ今年3月 20日四町合併されます。新市公民館数は、全地区で27となり、坂井郡四町のそれぞれの特性・地域性を活かし、住民参加型の広域的な視点で町づくりを推進していく地域のコミュニティーの拠点としての役割を担うこととなります。ただ今、現在、四町で公民館業務についてすり合わせが行われており細部について調整が行われております。当然のことながら、現在の四町の活動内容がそれぞれ大きく又、微妙に違っており、これを同じような形で進めようとしておりますので、今後いろいろな問題が出てくることも予想されます。

合併により一般的には地域住民の方の声が届かなくなる。役場が遠くなる。地域格差による住民サービスの低下。地域文化の喪失等や地域活動に対する予算の削減が心配されております。公民館は、それら地区住民の人たちの地域のコミュニティー・情報の拠点としての重責を担う事になります。そのため、合併以後の公民館の役割は、地域自治体の仕組みによるまちづくりを推進していく上で非常に大きいものがあると認識しております。

まず第1になさねばならないことは、公民館は公民館業務の能力をそなえた公民館専門の職員によって運営されなければならないということです。公民館の機能を効果的に発揮するには、公民館職員の識見、技術、熱意によるところが大きく専門能力が必要であります。

従って、公民館運営にあたる職員には、適材適所の人事が必要であり、その運営能力を高める為、職員の継続的な研修が実行されなければならない。1・2年の短期間で他の部署へ移動されたりすることは避けなければなりません。そのほか自然環境や、歴史、資源、文化資源、特徴的な町並みなど。住民の生活に強く根付いている環境を意図的に学習し、地区住民のアドバイザー的存在になるよう、その資質向上を図っていかねばなりません。

又、公民館活動事業費については、住民サービスの低下に結びつかないように、将来のまちづくりを見据えて十分に討議していく必要があります。住民に親しまれる公民館にならないと、これからは生き延びることはできません。そのためには、早急に現在の公民館活動の取り組みを見直して、地域の社会教育の場として意識改革が必要であります。

ただいま県下で「子ども安心三万人作戦」が展開されており、地域の子どもは地域で守るということで全県下の小学校区に「子ども見守り隊」が結成されております。ほとんどの見守り隊が、公民館を事務局としており、全くのボランティア活動をしております。このような活動は今後ますます増えるとともに、重要性を増していくと考えられます。

又、少子高齢化が、ますます顕著になってきた現在、子どもの食育問題や、今年のように大雪災害に見舞われた一人暮らし老人や老人だけの家庭への、地域での助け合いとか対策が地域の問題として大きくクローズアップされてまいりました。その他、婦人会、青壮年団活動の衰退や、男女共同参画社会への不十分な理解、子どもの虐待などの人権問題など地域の課題解決に向けた学習プログラムの開発など多くの課題があります。

公民館活動の終局の目的は「住民の自治能力の向上」にあるといわれております。これからの地域づくりは、地域の住民が主役として知恵を出し合いながら、企画運営し、そこに行政が支援するといった自立型でなければならないと思います。これを目指して微力ながら頑張っていきたいと思っております。

次週プログラム 3月15日(水)

第1372回 例会

丸岡 RC 創立記念日によせて

チャーターメンバー 会員卓話

池田会員 『ロータリー愛』

中島会員